

研修No	33	A18
研修名	ケースに学ぶ ITプロジェクトにおけるリスクマネジメント	

技術カテゴリ	プロジェクトマネジメント			
対象階層	中堅(PG/SE)	リーダー層(PL)	管理層(PM/PL)	
対象詳細 (必要予備知識等)	プロジェクト型業務に従事する方、管理する方 / ITプロジェクトを支援する関連部署に所属する方 前提知識: エンジニアとしての実務経験があること。			

研修概要	本コースでは、ITプロジェクトにおけるリスクマネジメントの考え方を習得した上で、ケーススタディを通して、実践の場で注意すべきリスクの視点を養い、どのように対策を打つべきかを習得します。	
研修効果	プロジェクトにおけるリスクマネジメント力を身に付ける。	
カリキュラム詳細 【1日目】	1. ITプロジェクトを取り巻く状況 2. プロジェクトマネジメントにおけるリスクマネジメントの位置づけ 3. リスクマネジメントと 4. リスクマネジメントのプロセス 5. リスクマネジメント計画 6. リスクの識別 演習1 リスクの識別	◆厳しさを増すITプロジェクト環境 ◆システム開発PJの成功率 ◆成功するプロジェクトを増やすには ◆PMBOKとは ◆ITシステム開発とPMBOKの関係 ◆プロジェクトマネジメントの全体イメージ ◆リスクマネジメントとは ◆失敗したプロジェクトでは・・・ ◆リスクマネジメントの位置付けと効果 ◆リスクの種類とシステム開発のリスク事例 ◆PMBOKにおけるリスクマネジメントの流れ ◆リスクマネジメントのプロセス概要 ◆リスクマネジメントのイメージ ◆リスクを管理する工程 ◆リスクマネジメント計画 ◆リスク要因とリスク事象 ◆リスクの表現について ◆リスク識別のツールと技法 ◆リスク分類例 ◆記載しにくいリスクも記述する ◆演習問題説明【演習／発表】
【2日目】	7. リスクの定性的分析 8. リスクの定量分析 9. リスク対応計画 10. リスクの監視・コントロール 演習2 リスク対応策の検討 11. まとめ、総括	◆定性的分析のリスクスコア算出方法 ◆リスク評価尺度の例 ◆発生確率・影響度マトリクス ◆リスクの定量的分析の方法 ◆定量的分析の効果と重要性 ◆予防対策と発生時対策 ◆リスク対応策の立案方針 ◆リスク対応戦略と二次リスクの検討 ◆リスク管理表の記述例 ◆リスク監視・コントロールの狙い ◆リスクマネジメントサイクルの繰り返し ◆組織内での教訓共有 ◆演習問題説明【演習／発表】 ◆まとめ

研修日数	2日間	総時間	14時間
研修実施日	2019年10月30日(水) ～ 2019年10月31日(木)		
研修実施時間	9:30 ～ 17:30		
会場	福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F 麻生教育サービス セミナールーム		
受講料(会員)	¥52,200	受講料(非会員)	¥58,000
提供企業	麻生教育サービス株式会社		
定員	16名	最低開催人数	4名

※税別・テキスト代込み

備考	
----	--

※最低開催人数に達しない場合は中止とさせていただきます。なお中止の場合は、開催日の1週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム等を一部変更することがあります。